



k-Report スクリーンキャプチャー出力

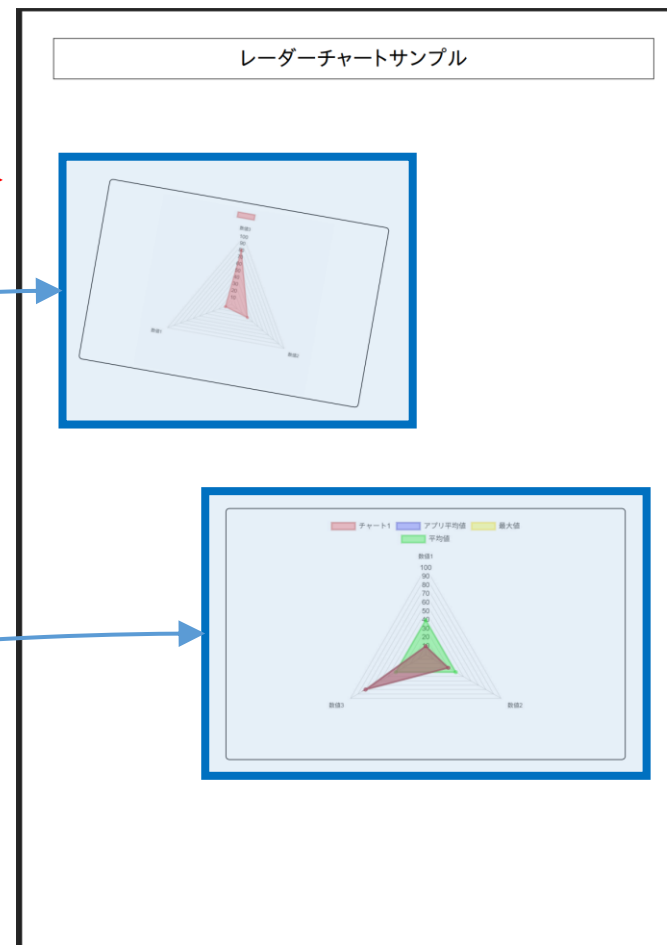
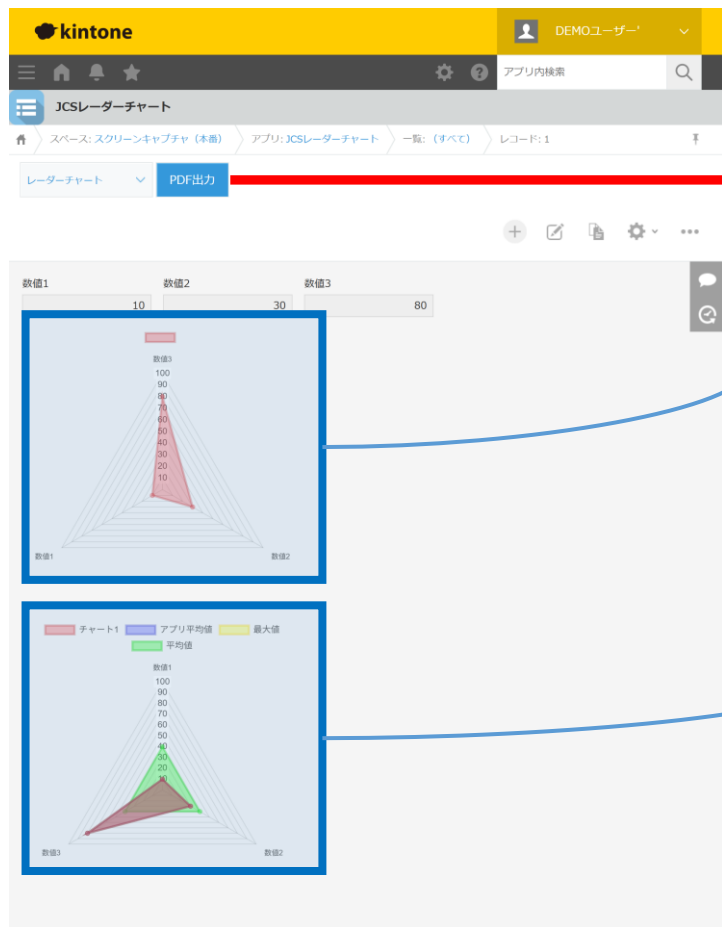
ご利用ガイド

V1.02

k-Report スクリーンキャプチャー出力 とは？

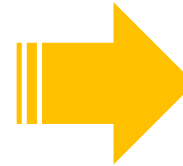
k-Reportで画面上のプラグインやJavaScriptの描画オブジェクトを「画面の見たままの状態」でPDF出力が可能です

kintone

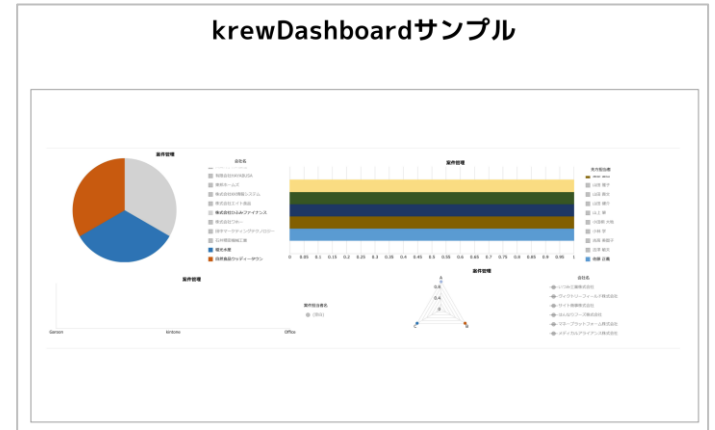


オペレーションをした「今その時」の画面をPDFに出力できます

kintone



crewDashboardサンプル

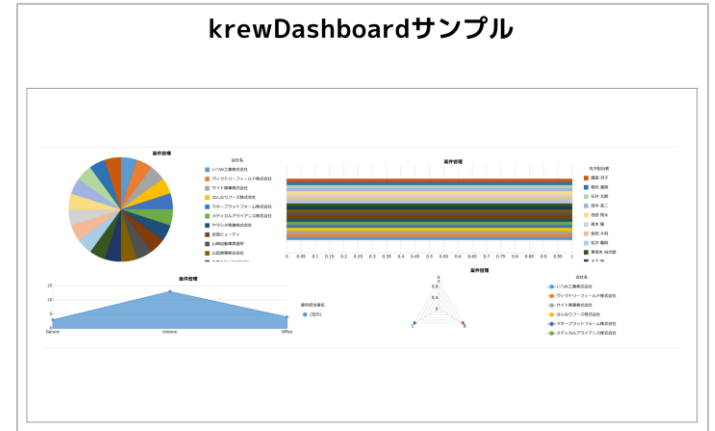


PDF

kintone



crewDashboardサンプル



PDF

オリジナルのJavaScriptで描画した内容でも概ね動作します。



kintoneのスペースエリアにオリジナルで描画したコンテンツ

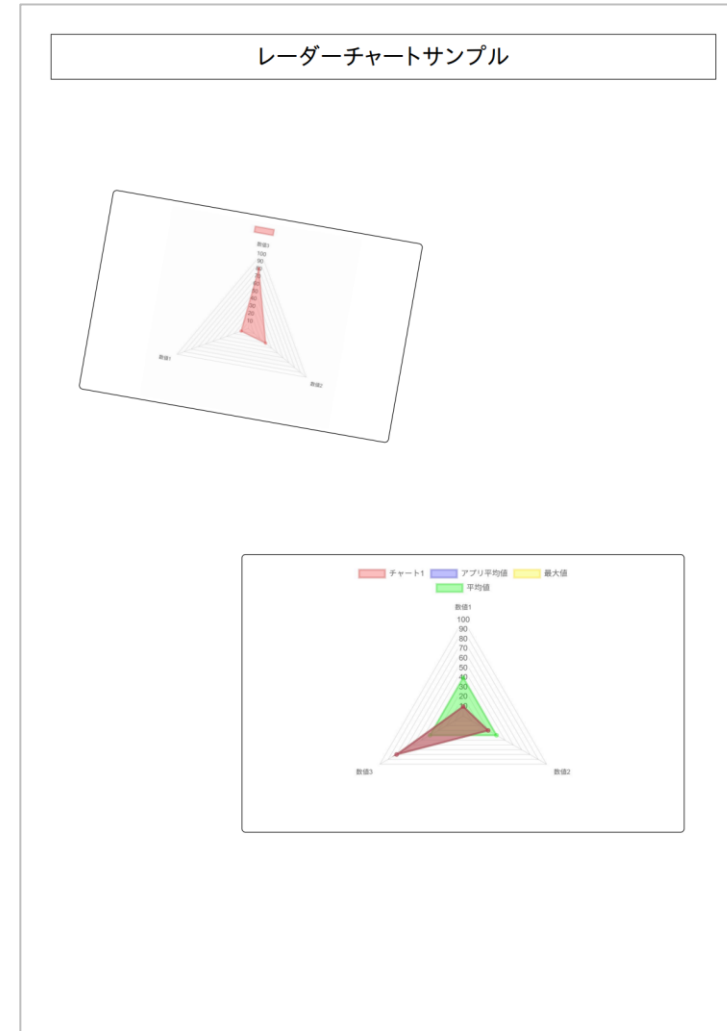
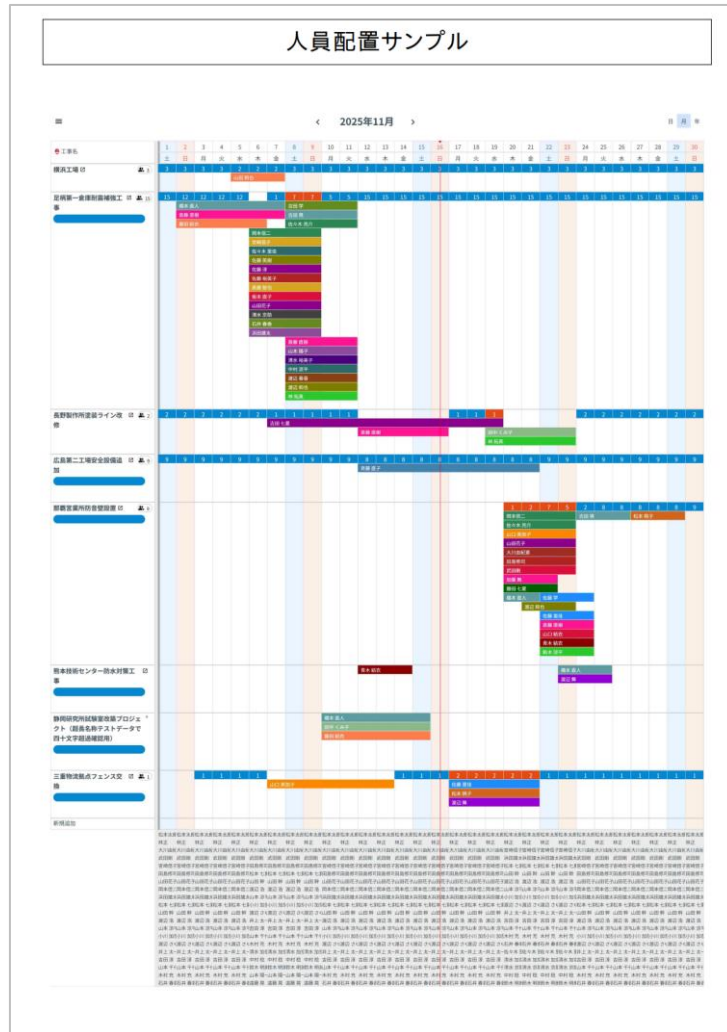


出力サンプルです。




その他、プラグインやJavaScript等で画面に描画されているオブジェクトで利用可能です。

出力サンプルです。



その他、プラグインやJavaScript等で画面に描画されているオブジェクトで利用可能です。

スクリーンキャプチャー出力の設定



- サブユーザー管理
- 情報&マニュアル
- FAQ&お問い合わせ

System

- ログアウト

≡ 一覧 帳票新規登録

\$id = 1

単独帳票
 グループ帳票

帳票タイプ ※必須

- レコード個別タイプ**
個別レコードでの請求書や各種伝票等のタイプ
kintoneテーブルのフィールド、アプリ連携のフィールドが利用可能です
- 一覧タイプ**
レコード一覧、ラベル印刷等の検索結果のkintoneのレコード一覧を使うタイプ
※一覧タイプではkintoneテーブルのフィールド、アプリ連携のフィールドはご利用になれません

ページアップタイプ ※必須 [▶ 動画でページアップ機能について確認](#)

- データに合わせて自動ページアップ**
各種伝票等、データの量に合わせて帳票ページ数が自動変動するタイプ
デザイナー画面にて自動ページアップの条件を設定可能です。
[? 自動ページアップ設定について](#)
- PDFテンプレートと同じページ構成**
はがきや契約書等、ページ構成が固定しているタイプ
アップロードしたPDFの構成のまま出力され、デザイナー画面で設定した自動ページアップの条件は無視されます。

スクリーンキャプチャー出力を行う画面に合わせて選択してください。

レコード個別タイプ

個別レコードでの請求書や各種伝票等のタイプ
kintoneテーブルのフィールド、アプリ連携のフィールドが利用可能です

一覧タイプ

レコード一覧、ラベル印刷等の検索結果のkintoneのレコード一覧を使うタイプ
※一覧タイプではkintoneテーブルのフィールド、アプリ連携のフィールドはご利用になれません

データに合わせて自動ページアップ

各種伝票等、データの量に合わせて帳票ページ数が自動変動するタイプ
デザイナー画面にて自動ページアップの条件を設定可能です。
[? 自動ページアップ設定について](#)

PDFテンプレートと同じページ構成

はがきや契約書等、ページ構成が固定しているタイプ
アップロードしたPDFの構成のまま出力され、デザイナー画面で設定した自動ページアップの条件は無視されます。

スクリーンキャプチャー出力がメインの場合は「PDFテンプレートと同じページ構成」が便利ですが、利用状況やページ構成によって最適なタイプを選んでください。

スクリーンキャプチャー出力の設定は帳票の詳細設定ブロックの中に設定箇所がございます。

機能の有効にする (3個目)

スクリーンキャプチャー出力

機能の有効にする

※kintoneの詳細画面のスペースに配置されたオブジェクトは「kintoneのスペースオブジェクト」にチェックをいれてください
※スクリーンからの画像取得のパフォーマンスは設定解像度の種類に比例します
※kintone上で対象オブジェクト画像の取得ができない時は解像度設定を下げて再度お試しください
※外部サイトのリソースを参照しているオブジェクトは、参照元サイトでCORS (クロスオリジンリソースシェアリング) が許可されている必要があります

対象 01 :	<input type="text" value='[data-cm-id="staffing-schedule'/>	非表示 :	<input type="text" value=".data-available, [data-resource"/>	解像度 :	きれい	<input type="checkbox"/>	kintoneのスペースエリアに配置
対象 02 :	<input type="text" value="対象を指定"/>	非表示 :	<input type="text" value="非表示を指定"/>	解像度 :	きれい	<input type="checkbox"/>	kintoneのスペースエリアに配置
対象 03 :	<input type="text" value="対象を指定"/>	非表示 :	<input type="text" value="非表示を指定"/>	解像度 :	きれい	<input type="checkbox"/>	kintoneのスペースエリアに配置
対象 04 :	<input type="text" value="対象を指定"/>	非表示 :	<input type="text" value="非表示を指定"/>	解像度 :	きれい	<input type="checkbox"/>	kintoneのスペースエリアに配置
対象 05 :	<input type="text" value="対象を指定"/>	非表示 :	<input type="text" value="非表示を指定"/>	解像度 :	きれい	<input type="checkbox"/>	kintoneのスペースエリアに配置
対象 06 :	<input type="text" value="対象を指定"/>	非表示 :	<input type="text" value="非表示を指定"/>	解像度 :	きれい	<input type="checkbox"/>	kintoneのスペースエリアに配置
対象 07 :	<input type="text" value="対象を指定"/>	非表示 :	<input type="text" value="非表示を指定"/>	解像度 :	きれい	<input type="checkbox"/>	kintoneのスペースエリアに配置
対象 08 :	<input type="text" value="対象を指定"/>	非表示 :	<input type="text" value="非表示を指定"/>	解像度 :	きれい	<input type="checkbox"/>	kintoneのスペースエリアに配置
対象 09 :	<input type="text" value="対象を指定"/>	非表示 :	<input type="text" value="非表示を指定"/>	解像度 :	きれい	<input type="checkbox"/>	kintoneのスペースエリアに配置
対象 10 :	<input type="text" value="対象を指定"/>	非表示 :	<input type="text" value="非表示を指定"/>	解像度 :	きれい	<input type="checkbox"/>	kintoneのスペースエリアに配置

キャプチャー出力時に非表示にするオブジェクトのクエリセクタを入力します。カンマ区切りで複数設定可能です。

解像度の種類を選びます。
「きれい」=大きめのオブジェクト
「詳細な」=小さめのオブジェクト
が良い結果になる事が多いです。

キャプチャー出力の対象になるオブジェクトのクエリセクタを記載します。対象オブジェクト各設定1つだけなので、もしこのクエリセクタで複数のオブジェクトが見つかった場合は最初に見つかった一つ目が対象になります。

またkintoneの詳細画面でkintoneの「スペース」に配置されたオブジェクトの場合はそのままIDを入力して頂き、一番右側の「kintoneのスペースエリアに配置」にチェックを入れてください。

kintoneの詳細画面でkintoneの「スペース」に配置されたオブジェクトをキャプチャする時にはこちらにチェックをいれてください。

【クエリセクタ例】

ターゲットオブジェクトが
<div id="target">xxxx</div>
の場合は
#tareget

ターゲットオブジェクトが
<div class="target">xxxx</div>
の場合は
.tareget

キャプチャ対象になるオブジェクトは1帳票の付き合計で10個まで設定可能です。

スクリーンキャプチャー出力の設定

The screenshot shows the k-Report Designer interface. On the left, there are panels for 'データ' (Data), 'プロパティ' (Properties), and 'DBの値' (DB Values). The 'DBの値' panel shows a table with columns for 'グループを選択' (Select Group) and 'Item-No'. The main workspace is titled 'Active' and contains a large red-bordered area labeled '人員配置サンプル' (Personnel Configuration Sample). This area contains a 3D database cylinder and a tablet displaying a landscape image. A dropdown menu is open, listing various objects, with 'SCREEN : OBJECT_01' highlighted. A red box and arrow point to this item, and another red box at the bottom contains explanatory text.

X	Y	回転角度
11.25	18.92	0

幅	高さ
189.64	271.92

グループを選択	Item-No
kintone : main	1

描画判定フィールドを選択	条件
(未選択)	*

値を挿入するフィールドを選択

SCREEN : OBJECT_01

- GSIGN : SIGNATURE06
- GSIGN : SIGNATURE07
- GSIGN : SIGNATURE08
- GSIGN : SIGNATURE09
- GSIGN : SIGNATURE10
- SCREEN : OBJECT_01**
- SCREEN : OBJECT_02
- SCREEN : OBJECT_03
- SCREEN : OBJECT_04

帳票の詳細設定画面で「スクリーンキャプチャー出力」を有効にすると帳票デザイナーで「SCREEN : OBJECT_01」等が利用できるようになります。この項目を帳票デザイナーの画像部分に設定して頂きますとスクリーンからキャプチャーが正常に取得出来た場合、この指定エリアに画像として配置されます。

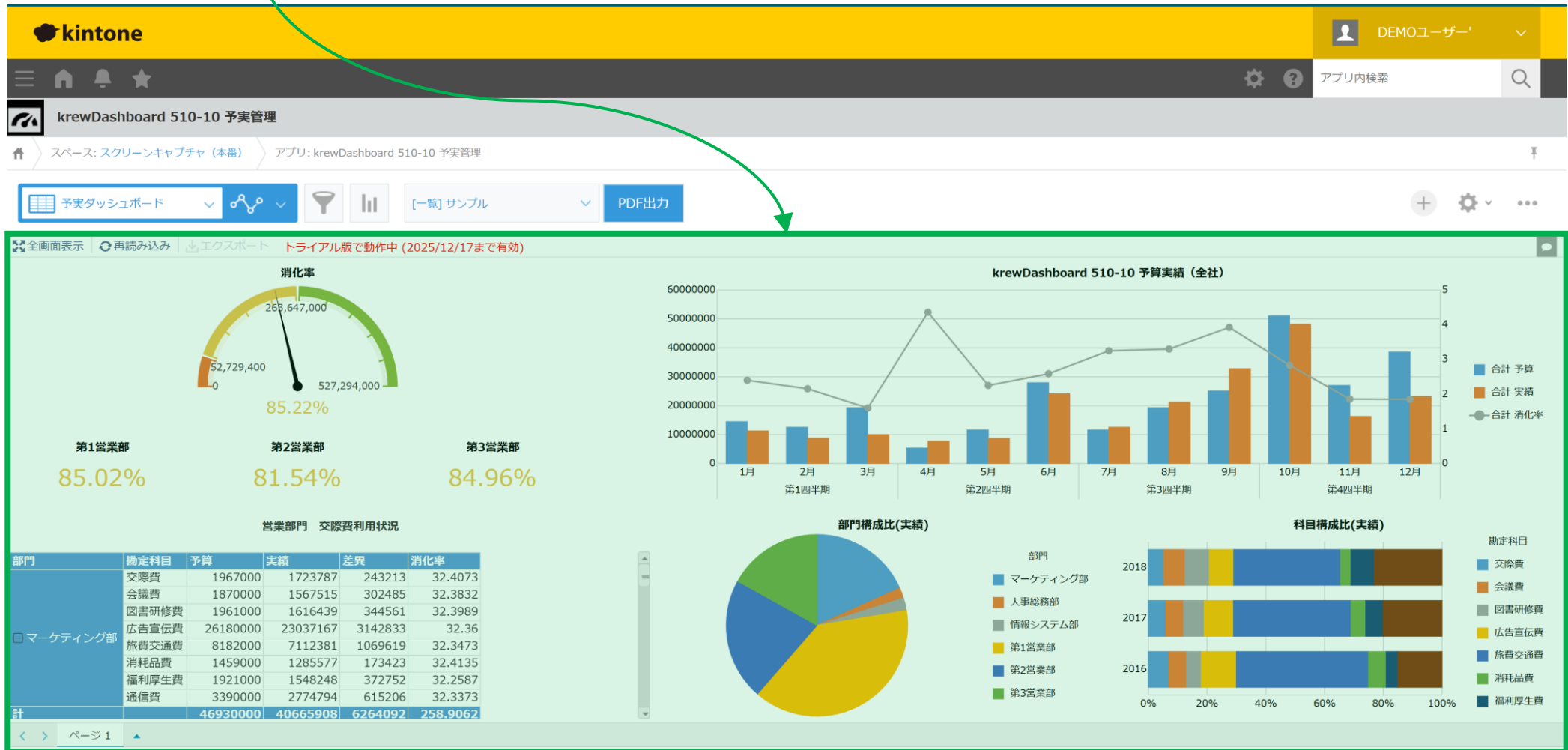
主要プラグインメーカーでのクエリセクタ設定例

メシウス社 : krewDashboard

メインエリアのクエリセレクト

#krewdashboard

を対象オブジェクトに設定

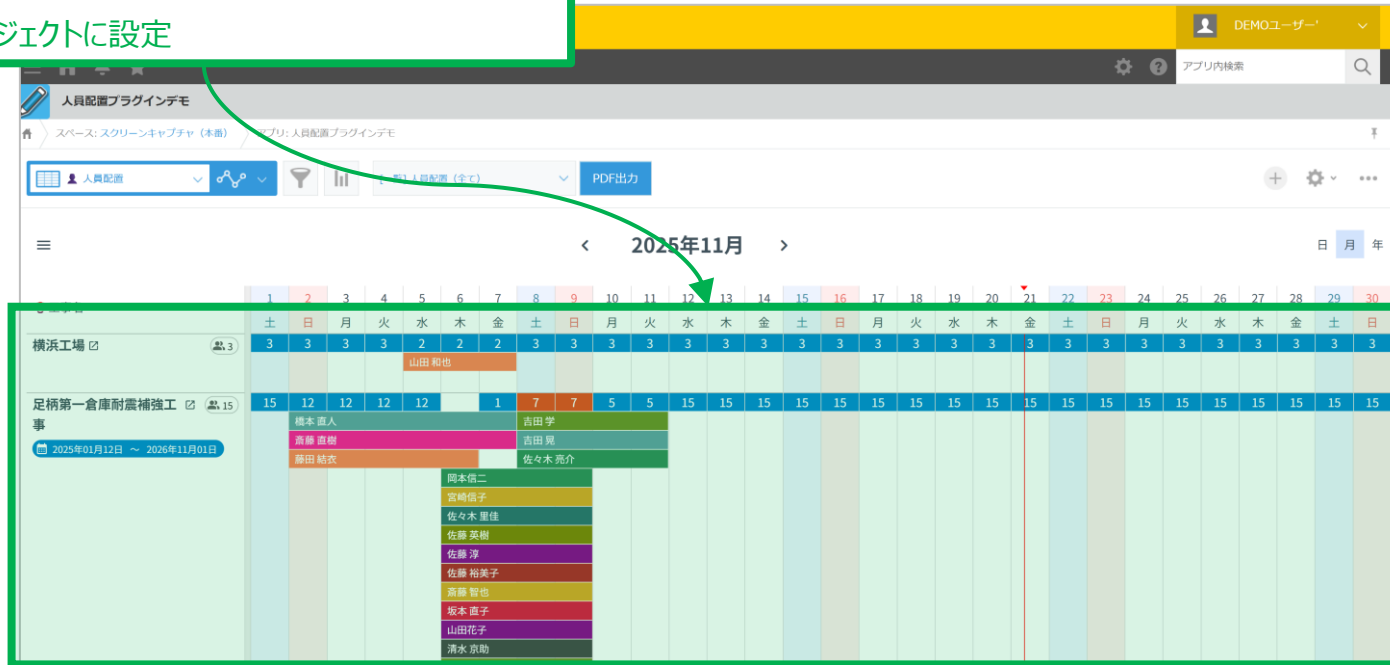


ペパコミ社: 人員配置プラグイン

メインエリアのクエリセクタ

[data-cm-id="staffing-scheduler"]

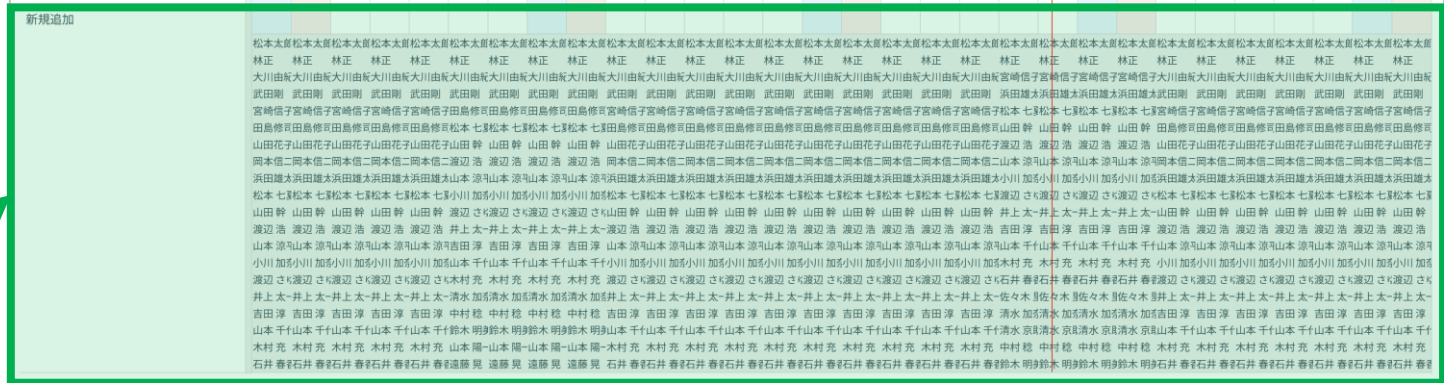
を対象オブジェクトに設定



新規追加エリアを非表示にする場合

.data-available, [data-resource-id="__new__"]

を非表示項目に設定



ラジカルブリッジ社: カレンダーPlus

メインエリアのクエリセレクト
#calendarPlus
を対象オブジェクトに設定

The screenshot displays the 'Calendar Plus' application interface. At the top, there is a navigation bar with a user profile 'DEMOユーザー' and an internal search bar. Below this is a toolbar with a 'Calendar' view selector, a filter icon, a bar chart icon, a dropdown menu showing '[一覧] カレンダー', and a 'PDF出力' button. The main area shows a calendar for '2025年 11月'. The calendar grid includes dates from 26 to 22. Several task cards are visible: 'タスク1' (8:05 - 8:35) on the 17th, 'タスク2' (7:10 - 7:55) on the 6th, 'タスク3' (8:00 - 8:20) on the 20th, and 'タスク4' (6:40 - 7:40) on the 19th. A green box highlights the main calendar area, and a green arrow points from the text box on the left to this area.

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22

Crena社:カレンダー

メインエリアのクエリセクタ
#calendar-plugin
を対象オブジェクトに設定

【スクリーン】Crenaカレンダー

スペース: スクリーンキャプチャ (本番) アプリ: 【スクリーン】Crenaカレンダー

カレンダー [一覧] カレンダー PDF出力

2025年11月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11 ● イベント2 12:30	12 ● イベント1 11:00	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

Crena社: かんばん

メインエリアのクエリセレクトタ

#kanban-plugin

を対象オブジェクトに設定

The screenshot displays the Crena Kanban application interface. At the top, there is a navigation bar with a user profile 'DEMOユーザー' and a search bar 'アプリ内検索'. Below this, the application title '[SCREEN] かんばん' is shown. The main area features a Kanban board with columns for priority: '高' (High), '中' (Medium), '低' (Low), and '不要' (Not needed). The board is divided into sections: '対応中' (In progress), '新規' (New), '完了' (Completed), '保留' (On hold), and '(未選択)' (Unselected). A green box highlights the main area, and a green arrow points from the text box to the Kanban board.

高	中	低	不要
1	1	0	1
1	0	0	1
0	1	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0

ジャパンコンピューターサービス社:レーダーチャート

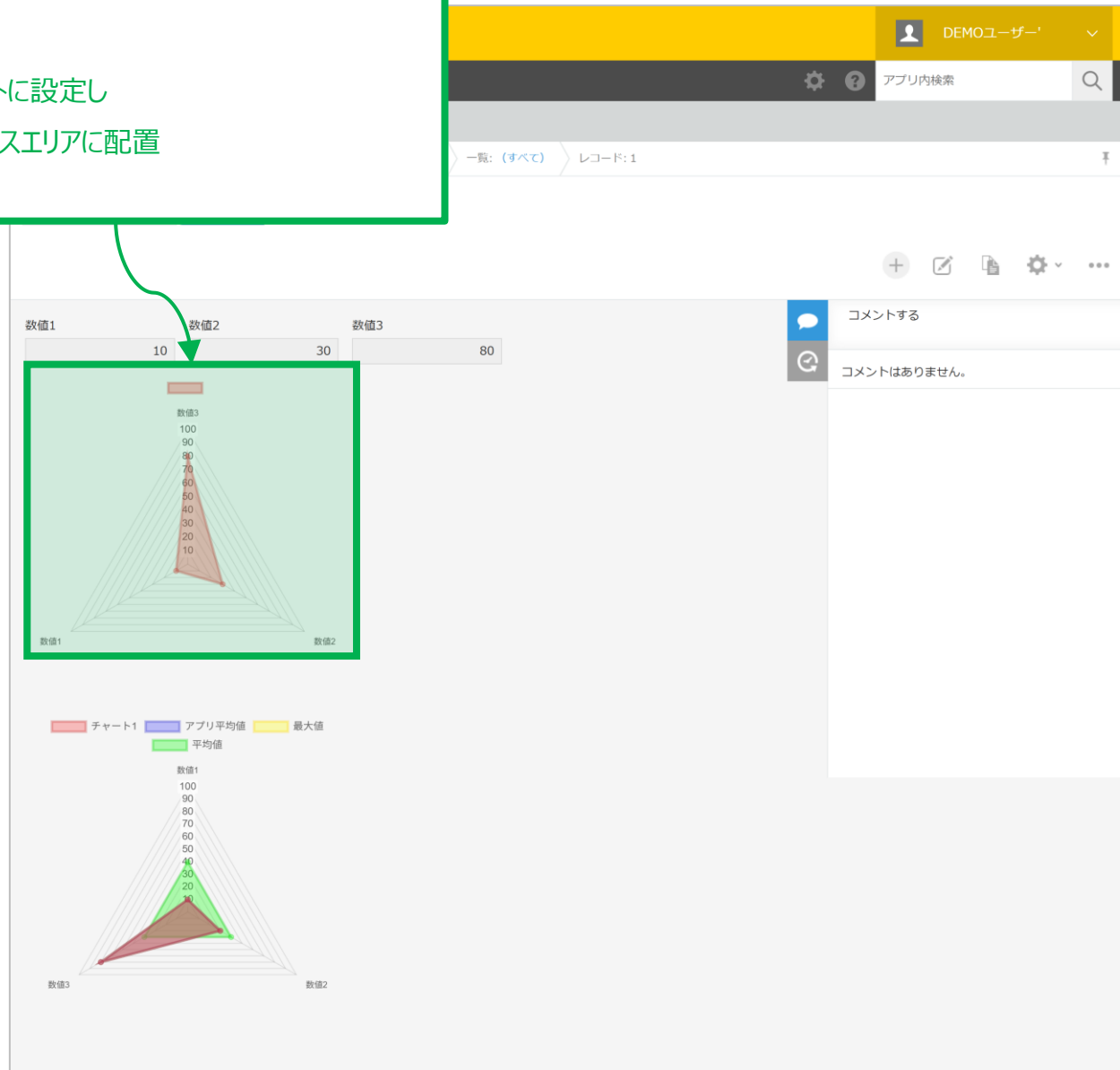
メインエリアのクエリセクタ

RadarChart1

を対象オブジェクトに設定し

kintoneのスペースエリアに配置

にチェックを入れる



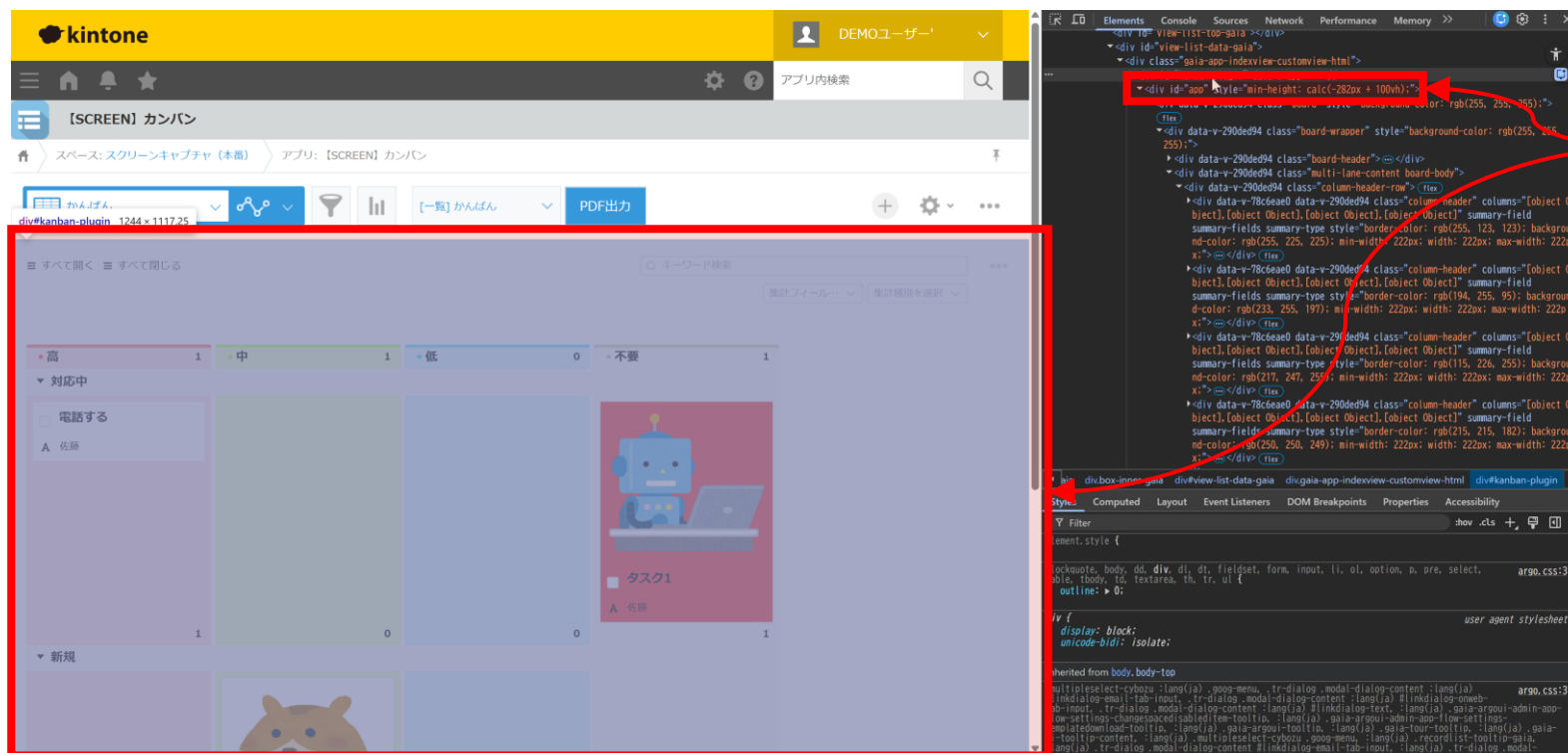
クエリセレクトの調査方法

もしkintone内の該当オブジェクトのクエリセクタ文の調査を行いたい場合は基本的にはWeb開発等の技術者様にご相談をお願いいたします。一般的な調査方法としては

- ①ブラウザに該当のオブジェクトを画面に表示する
- ②開発者ツールの「Elements」でオブジェクトの構造を調査する
- ③ターゲットになるオブジェクトエリアのTOPに配置されたHTMLタグ構造を確認する

で、どのようなクエリセクタが必要になるのか確認可能です。

技術的な内容になる事と、**プラグインやカスタムJavaScriptの作りによって大きく変わりますのでオーサムジョブではサポートは行っておりません**。調査につきましてはWebエンジニアの方にご相談頂けますと幸いです。



開発ツールで画面内オブジェクトの構成を確認すると、必要なクエリセクタを検出可能です。

開発者向け

【開発者向け】スクリーンキャプチャー出力専用JavaScriptイベント

k-ReportでPDF出力時のJavaScriptイベントを取得可能です。このイベントを利用する事でPDF生成時に画面上のオブジェクトを任意の状態に変更する事も可能です。

(例) 「PDF出力時には不要と思われるボタンを非表示にする」等を任意に追加可能

```
// サンプル
function KRD_registerEventHandlers() {
  // キャプチャ前イベント
  KRD_Events.on('before.capture', (event) => {
    console.log('Before Capture:', event);
  });

  // キャプチャ後イベント
  KRD_Events.on('after.capture', (event) => {
    console.log('After Capture:', event);
  });

  console.log('[INFO] KRD_Events.ready イベントを受け取り登録完了');
}

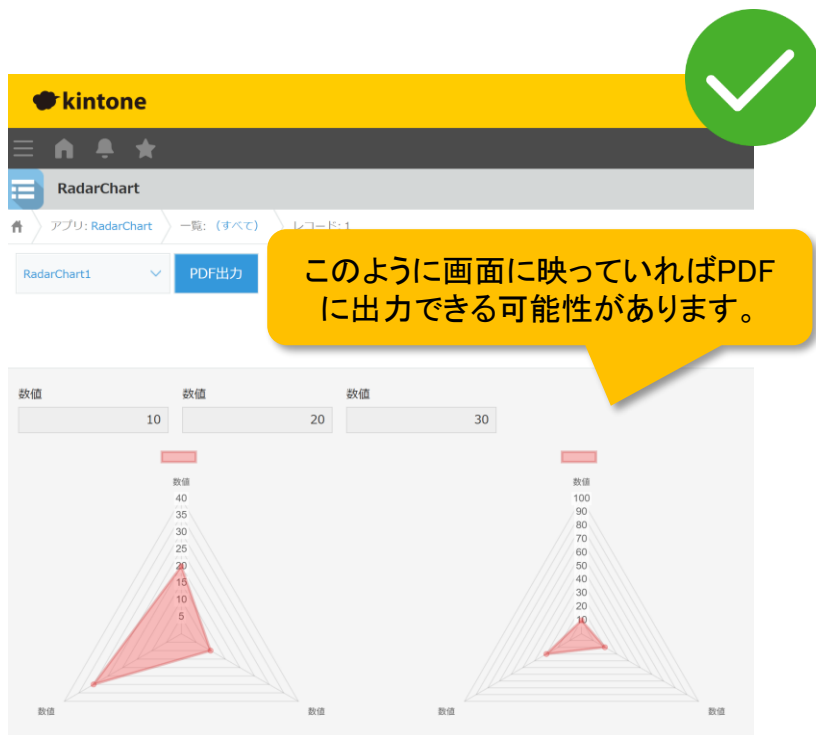
// KRD_Eventsが既に存在する場合は即座に登録、存在しない場合はreadyイベントを待つ
if (window.KRD_Events) {
  KRD_registerEventHandlers();
} else {
  window.addEventListener('KRD_Events.ready', KRD_registerEventHandlers);
}
```

画像キャプチャ前イベント

画像キャプチャ後イベント

スクリーンキャプチャー出力機能の注意事項

k-Report APIやバックグラウンドバッチ処理等、画面が描画されない状態では本機能ではご利用いただけません。また外部リソース（外部サイトの画像等）を含む場合は提供元サイトにてCORS設定またはuseCORSオプションが必要となります。



- モバイル環境の出力
- 一覧画面からのサーバー上での多数ページPDF生成
- 一覧画面からのバッチ処理的なPDF生成
- k-Report APIでのPDF生成等、画面上にオブジェクトが描画されないPDF出力
- 外部サイトのリソース（画像等）を画面上で読み込んでいて、参照元がCORS設定されていない時

本機能のターゲットブラウザ

「スクリーンキャプチャー出力」の機能は主にGoogle Chromeをターゲットとして開発しています。FirefoxやSafari等ではレンダリング技術の一部互換性の関係より「ほぼ対応可能ですが、一部レイアウトで互換性に課題あり」としています。ご了承ください。

■ Windows

- Google Chrome → 【推奨】 ほぼ問題無し
- Microsoft Edge → 【推奨】 ほぼ問題無し
- Firefox → 【非推奨】 ほぼ問題無いが、一部レイアウトで互換性に課題あり

■ macOS

- Google Chrome → 【推奨】 ほぼ問題無し
- Firefox → 【非推奨】 ほぼ問題無いが、一部レイアウトで互換性に課題あり
- Safari → 【非推奨】 ほぼ問題無いが、一部レイアウトで互換性に課題あり